

園児 アヒルひな放つ

害虫駆除に 有機無農薬農場で

新庄

有機無農薬で稲作を D A 連携野土路農場
している新庄村の A M で、園児が害虫駆除に



水田にアヒルのひなを放す園児たち

役立つアヒルのひなを放した。

田植えが行われた水田（約10ア）で、村保育所の2、3、6歳児26人が実施。アロイシウス・シタミ農場長「マレシア出身」からアヒルが稲に付く害虫を食べることを教わった後、生後3日ほどの約60羽を次々と入れた。ひなは早速、泳ぎ回って雑草や虫をついばんでいた。周囲にネットを張り、8月下旬まで放し飼いされる。

尖戸虹介ちゃんは「ふわふわでかわいかった。元気に、虫をいっぱい食べてほしい」と話していた。

農場はアジアへの有

機農業普及を目指す国際医療ボランティア A M D A が、村と連携して 2011 年から運営。収穫した米の一部は、貧困地域などへ贈られる。